

## V 地元や民間の人たちと力を合わせて 未来に輝く大和平野中央を創生する

### D. 地元や民間の人たちと力を合わせて 未来に輝く大和平野中央を創生する

1 4. 土地の適正な管理、合理的な利用、より効果的な利用により、  
田園都市を建設

1 5. 周辺県施設の整備運営との連携

1 6. 官民連携した推進組織の構築（P P P Pの実行）

# D. 地元や民間の人たちと力を合わせて未来に輝く大和平野を創生する

## テーマ14. 土地の適正な管理、合理的な利用、より効果的な利用により、田園都市を建設

「土地の適正な管理、合理的な利用及びより効果的な利用により地域経済の発展及び生活の向上を図る条例」を制定し、関係施策を総合的かつ計画的に推進

### 条例制定の背景

- 大阪のベッドタウンとして住宅地の整備を中心に土地政策を展開してきた本県において、脱ベッドタウン化を図り、**若者の雇用やにぎわい等の創出に資する土地利用を進めることが重要課題。**
- 人口減少や高齢化が進展する中、空き家や耕作放棄地等の管理不全土地の増加、高い生産性が見込まれる土地の利用が低水準にとどまっているなど、**土地に関する課題が顕在化。**
- 現在の土地に関わる法制度の多くは、高度経済成長期に整備された「規制」を基調としたもの。

### 条例の概要

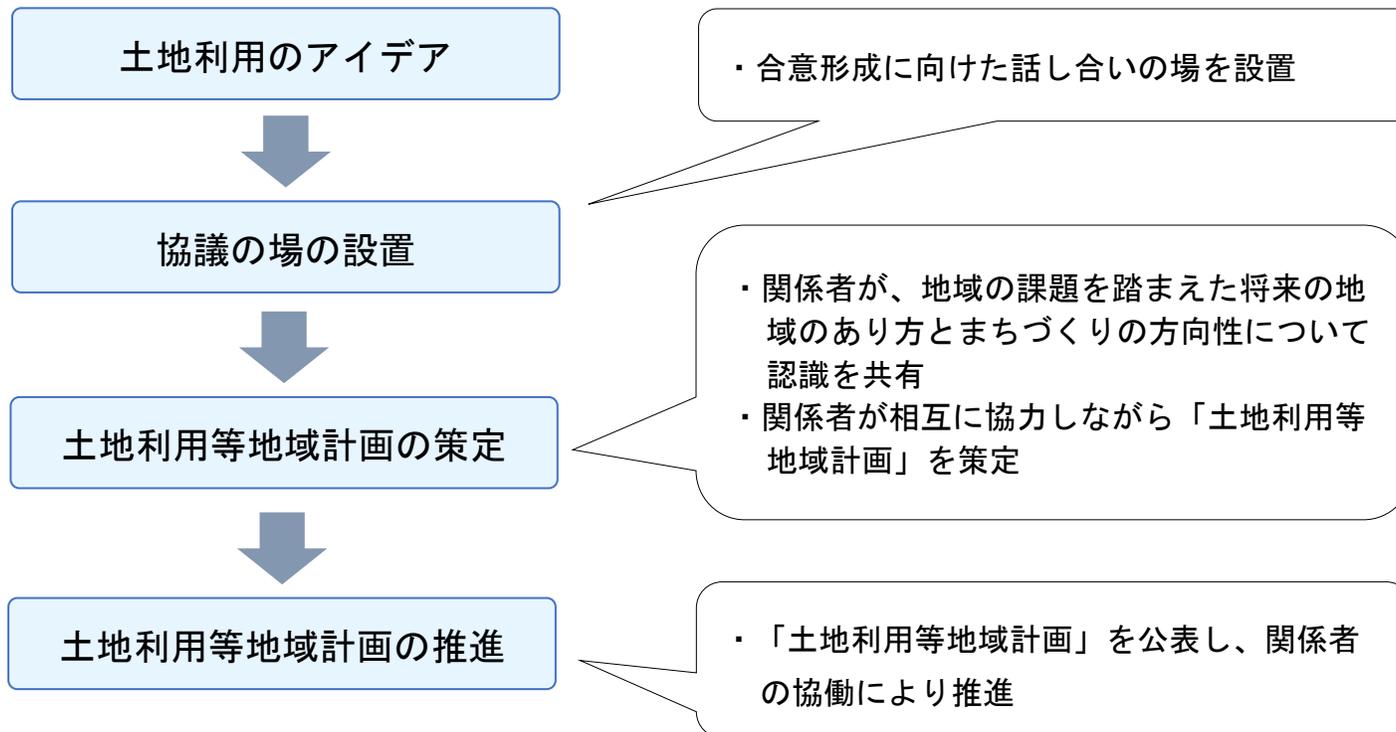
- 土地の管理と利用に関する基本理念を定め、土地所有者等や県、県民の責務を明確化。
- 土地の「適正な管理」、「合理的な利用」、「より効果的な利用」を実現するための施策を明示。
- 土地所有者等や近隣住民、市町村など、関係者と協力し、施策を総合的かつ計画的に推進。

# 具体的な実施策

Well-being

磯城郡3町で進められている拠点整備及びその周辺のまちづくりについて、県内他地域のモデルケースとなるよう、地域住民、町等、当該地域の関係者との協議により土地利用の計画を策定して、土地の管理及び利用を進め、田園都市を実現します。

## 計画策定の流れ（ボトムアップのまちづくり）



磯城郡3町における拠点整備のイメージ



(川西町 下永地区)



(三宅町 石見地区)



(田原本町 阪手北・西井上地区)

## 磯城郡3町で進める、土地の管理と利用の3つの視点

### ① 適正な管理

周辺住民の生命、身体、財産への危害の発生や、周辺地域の生活環境等への悪影響の発生を防止

### ② 合理的な利用

地域の価値の維持・向上、地域経済の発展、県民が安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現に資するよう、地域の諸条件に応じて、土地の効用を持続的に発揮

### ③ より効果的な利用

土地のより高い効用の発揮が見込まれる場合に、若者の雇用やにぎわいの創出等を通じて地域の持続的な発展を実現するため、土地所有者や近隣住民等の協力の下、土地の効用を更に発揮

# 具体的な実施策

Well-being

磯城郡 3 町の各拠点及び周辺エリアについて、**県・3 町**が役割分担して、実施します。

取り組み（案）：3つの階層に分け、エリアを特定

- ① 開発エリア (用地買収して開発するエリア) ⇒ 県で実施
- ② 周辺整備エリア (駅や主要幹線道路を含む周辺エリア) ⇒ 町で実施
- ③ 3町広域整備エリア (3町の全域を含む広域エリア) ⇒ 国・県で実施 (平成緊急内水対策事業は 県・町連携)

## ③ 3町広域整備エリア



## ② 周辺整備エリア



① 開発エリア

想定するルート(今後精査が必要)

- ← 県土の軸となる主要幹線道路から開発エリアまでのアクセスルート
- 鉄道駅から開発エリアまでのアクセスルート

## ➤ 磯城郡における水道事業の広域化

磯城郡 3 町では、水道事業を効率化し、安定した経営を持続するため、**水道事業の経営を一体化**しています。

### <背景>

- ・ 人口の減少等による水需要の減少
- ・ 老朽化施設の更新や耐震化対応による投資費用の増大
- ・ 熟練職員の退職による技術力の低下や人材不足

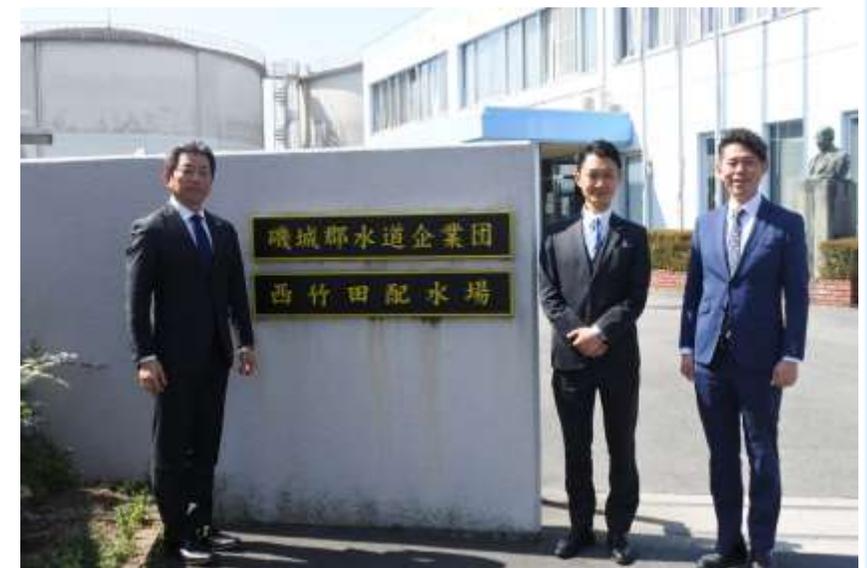
→投資費用の削減や事業運営の効率化による**将来の水道料金の上昇幅抑制**や  
管路更新計画の前倒しを目指し、磯城郡 3 町（川西町、三宅町及び田原本町）の水道事業を広域化

### <経緯>

- ・ 平成 26 年 磯城郡 3 町における施設共同化・広域化の**検討を開始**
- ・ 平成 28 年 「磯城郡 3 町における水道事業の広域化に関する覚書」を締結
- ・ 令和 2 年 「**磯城郡における水道事業広域化にかかる基本協定**」を締結
- ・ 令和 3 年 **磯城郡水道企業団の設立**
- ・ 令和 4 年 **磯城郡水道企業団による水道事業の運営開始**



磯城郡における水道事業広域化にかかる基本協定 締結式  
(令和 2 年 6 月 2 日)



田原本町長 森 章浩（磯城郡水道企業団企業長／写真左）  
川西町長 小澤 晃広（磯城郡水道企業団副企業長／写真中央）  
三宅町長 森田 浩司（磯城郡水道企業団副企業長／写真右）

# D. 地元や民間の人たちと力を合わせて未来に輝く大和平野を創生する

## テーマ15. 周辺県施設の整備運営との連携

周辺地域における県の事業等と連携を高め、双方の事業の効果を向上させます。

奈良県立大学



中央卸売市場



まほろば健康パーク



なら歴史芸術文化村



畝傍山周辺エリアのスポーツ拠点施設



大規模広域防災拠点



国保中央病院



県立医科大学・周辺のまちづくり

# 具体的な実施策

## 1. なら歴史芸術文化村

Well-being

- なら歴史芸術文化村では、引き続き、「『なぜ?』が芽生える。『知る』を楽しむ。」をテーマに、**歴史文化資源を活用した対話重視の体験**や、**子ども達の自尊心、利他心を養うことにつながる創作活動**の場となるような取組を積極的に展開します。
- また、磯城郡3町における「**文化財の活用・理解**」や「**子どものはぐくみ**」にかかる**事業展開と連携**し、**双方の事業効果の向上**を図ります。

※「なら歴史芸術文化村」で展開している「子どものはぐくみ」にかかるプログラムを、磯城郡3町でサテライト実施

- ・ 幼児向けアートプログラム（出張「そざいきち」）
- ・ 幼児向けヴァイオリン体験講座（出張「文化村」）



幼児向けアートプログラム  
「そざいきち」



小学生向けアートプログラム  
「あーとであそぼ」



ヴァイオリン体験講座

※ ムジークフェストならや  
JNO連携イベントなど、  
「なら歴史芸術文化村」を  
活用して実施している子ど  
も参加型コンサートについ  
ても、磯城郡3町に横展開



ムジークフェスト・なら2022

親子で楽しめるこどものための参加型コンサート



JNO連携イベント

親子で聴きたいほんもののクラシック音楽

# 具体的な実施策

## 2. 中央卸売市場再整備

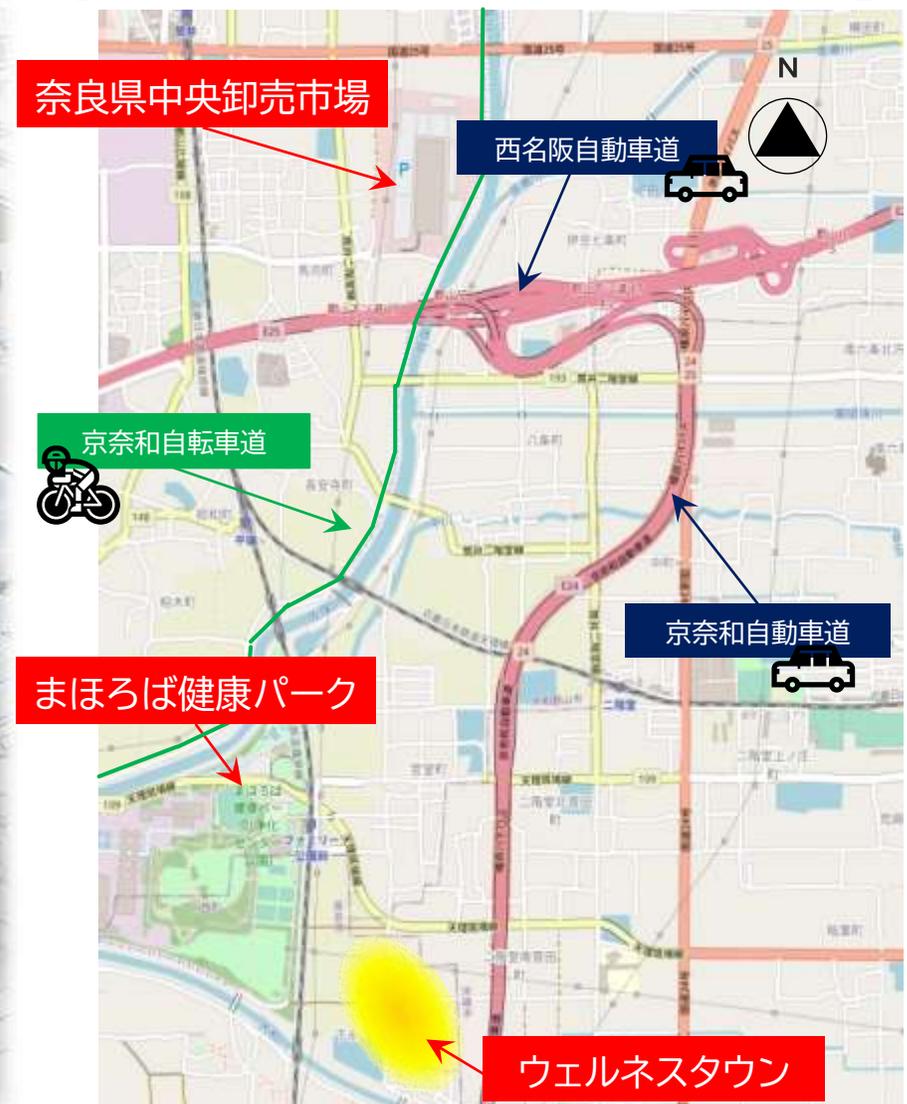
Well-being

老朽化した県中央卸売市場の再整備にあたり、**卸売機能の高機能化・効率化を図る市場エリアと、食とともに文化・スポーツを楽しむ「華やかな賑わいエリア」**を一体的に整備することで、**安全・安心な食の流通拠点機能**を確保するとともに、**地域に開かれた市場として、「多様な世代が集い、新たな交流や仲間が生まれる」地域の拠点**となることを目指します。（令和5年度事業発注予定）

まほろば健康パークや、川西町下永地区に整備予定の**「ウェルネスタウン」**との連携を進めます。



【中央卸売市場・まほろば健康パーク周辺】



# 具体的な実施策

## 3. まほろば健康パーク

Well-being

まほろば健康パークでは、子どもたちが、発達段階に応じて遊びや運動を楽しめる施設を中心に、すべての世代の人々が楽しく過ごせる公園を新たに整備することとしており、令和9年度の開園を目指して、民間活力導入による「みんなが憩い楽しみ、子どもが遊びや運動を通して成長する公園づくり」に取り組みます。

また、下永地区に整備予定の「ウェルネスタウン」や県中央卸売市場との連携を進めます。

新たな公園のイメージ



◇ゾーン区分

- ① 乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設ゾーン<6ヶ月～5歳>
- ② 子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設ゾーン<3歳～10歳>
- ③ 子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設ゾーン<8歳～15歳>
- ④ エントランスゾーン

# 具体的な実施策

## 4. 県立医科大学と国保中央病院

Well-being

### ○ 県立医科大学

令和7年度中の移転・開学に向けて、令和4年10月から建築工事に着手しています。  
新キャンパス継続整備及び新外来棟等整備において必要な機能等の検討を進めます。  
県立工科大学（仮称）、スタートアップヴィレッジやウェルネスタウンとの連携を進めます。

### ○ 国保中央病院

引き続き、小児2次救急医療や緩和ケアなど地域の中核病院として役割を期待します。

- ・ 県立医科大学の教育・研究部門を、近隣の旧農業研究開発センターへ移転整備  
先行整備（～令和6年度）：主に教育部門  
継続整備：主に研究部門



新キャンパス整備  
先行整備の整備イメージ

- ・ 移転後の現キャンパスにおいて、中南和地域の高度医療拠点病院としての附属病院の機能充実を推進



新外来棟等附属病院の  
整備イメージ

# 具体的な実施策

## 5. 畝傍山周辺エリアのスポーツ拠点施設

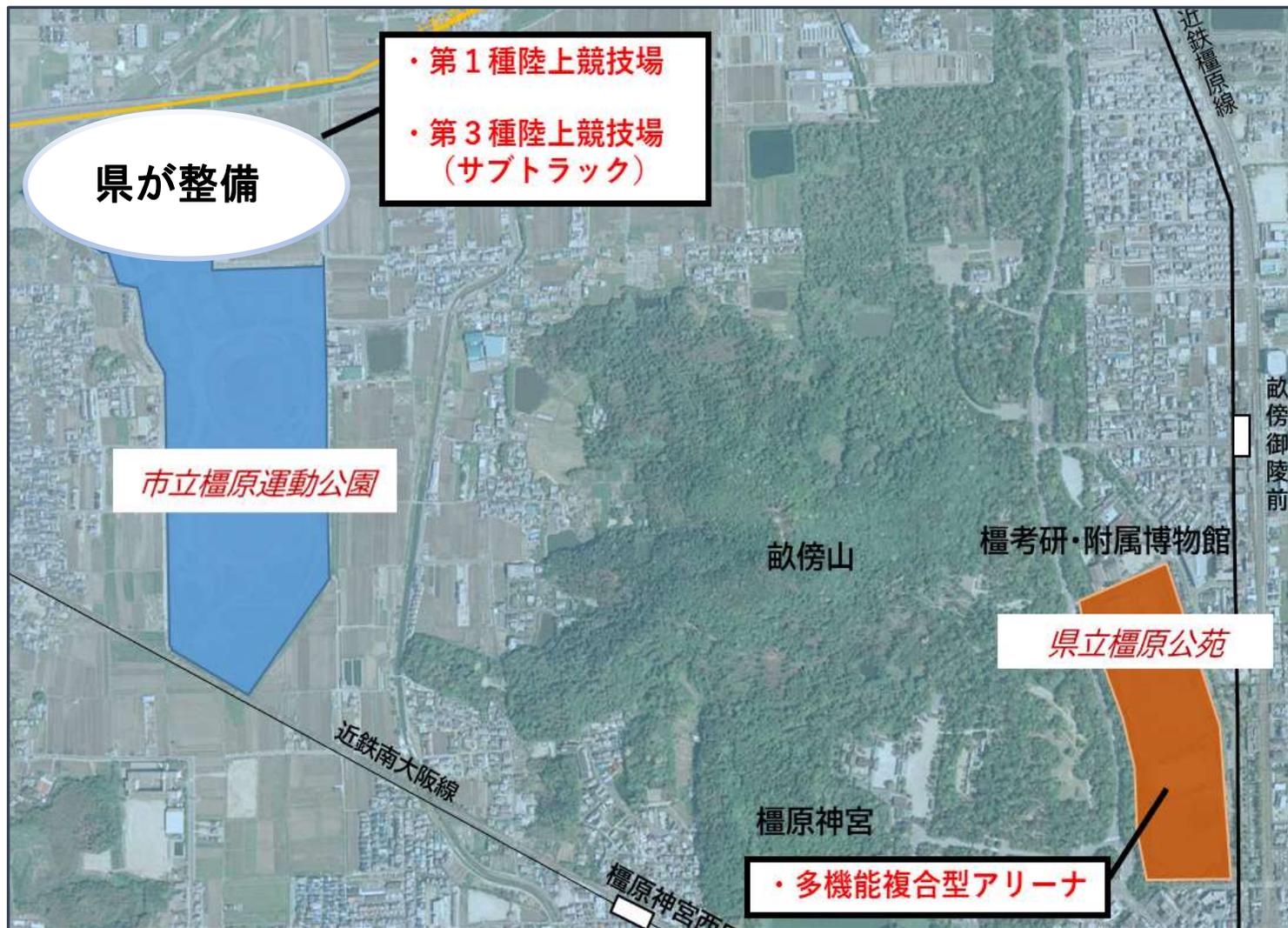
Well-being

### ○ 県立橿原公園と橿原市立橿原運動公園の一部を活用した新たなスポーツ拠点の整備

令和13年、奈良県での国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向け、第一種陸上競技場や、多機能複合型アリーナを整備します。

障害の有無や年齢にかかわらず、アスリートから健康志向まで、多様な人がいつでも自由に集まり、くつろげる、**居心地の良い空間**づくりを行います。

川西町下永地区及び、田原本町阪手北・西井上地区に整備予定の「**ウェルネスタウン**」との連携を図ります。



多機能複合型アリーナ (イメージ)



第一種陸上競技場 (イメージ)

# D. 地元や民間の人たちと力を合わせて未来に輝く大和平野を創生する

## テーマ16. 官民連携した推進組織の構築（PPPPの実行）

「大和平野中央田園都市構想」の取りまとめにあたり、民間事業者、有識者、国、磯城郡3町も参画するコンソーシアム形式により議論を深めました。

### 「大和平野中央田園都市構想」推進に向けた官民連携（PPPP）による取組

- 1. 検討会  
民間事業者、有識者、国の検討会への参加により議論を深化。
- 2. フォーラム  
県民にも参加いただき、磯城郡3町における将来の姿（構想）を提示。
- 3. 民間事業者等のアイデア募集  
民間事業者等のこれまでの経験やノウハウ等をまちづくりに取り入れる。
- 4. 民間事業者等への補助事業  
民間企業等による社会実証実験等の取組を促進。

※PPPP(Public Public Private Partnership)  
県と市町村など複数の自治体が関わる  
官民連携



### 1. 検討会 / 2. フォーラム

#### ※検討会参画メンバー

県、磯城郡3町、アカデミア、民間企業、金融機関、  
経済・産業等関係団体 など

#### 【開催実績】

R3年度	キックオフ会議	1回	
	検討会	4回	テーマ「健康長寿の大和平野創造」他
R4年度	検討会	4回	テーマ「ウェルネスとスポーツ」他
	フォーラム	2回	



令和4年10月 第1回フォーラム  
磯城郡3町在住者も登壇したパネルディスカッション

コンソーシアム形式による検討会  
ウェブを活用したハイブリッド方式で開催  
県外の有識者等と意見交換を実施

### 3. 民間事業者等のアイデア募集

大和平野中央プロジェクト（磯城郡3町の拠点整備）に関し、民間活力を積極的に導入するとともに、民間企業等のこれまでの経験やノウハウ等をまちづくりに取り入れるためアイデア募集を実施。

○募集期間：令和4年6月20日～8月26日      ○アイデア提案企業・団体数：13件

○その他ヒアリングにより意見のあった企業・団体数：8件

○提案いただいた内容

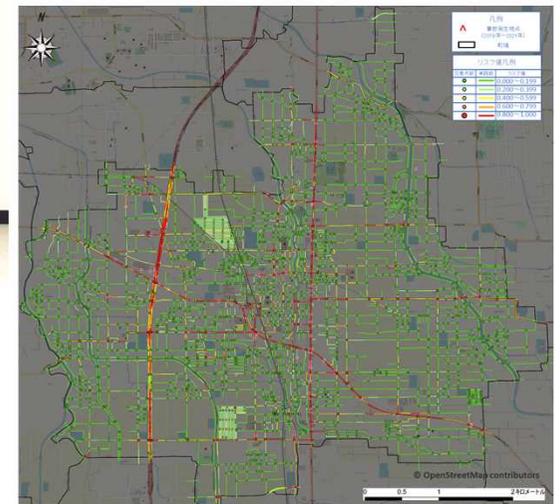
施設整備に関すること、開発エリアに関すること、施設運営に関すること、DXに関すること、エネルギーに関すること 等

### 4. 民間事業者等への補助事業

大和平野中央田園都市構想を推進するため、民間事業者等が行う先進的な事業に対して、県から補助金を支出。令和4年度においては、6団体から実証実験等の提案があり、うち3団体の提案事業を採択。

#### 【採択事業】

- ・ eスポーツを活用したフレイル予防効果の検証  
（川西eスポーツコンソーシアム）
- ・ センシング技術を活用した、健康増進・高齢者見守り  
（公立大学法人 奈良県立医科大学）
- ・ 潜在的交通事故リスクのAIアセスメントと  
リスク低減対策の検討  
（大和平野中央田園都市構想安全・安心  
まちづくりコンソーシアム）



## eスポーツを活用したフレイル予防効果の検証

(事業者：川西 eスポーツコンソーシアム (NPO法人川西スポーツクラブ、株式会社PREVENT))

### 1. 実証実験等の内容

高齢者の**身体的**や**精神・心理的フレイル** (虚弱)、**認知機能低下**は、要介護状態へ移行させ健康寿命を低下させる要因の一つとして知られている。eスポーツは、介護予防施策としていくつかの自治体で取り入れられているものの、eスポーツのフレイル予防効果やデジタルデバイドを加味した実行可能性等の検証は不十分である。

本実証実験では、Nintendo Switch (太鼓の達人やSwitch スポーツ) を活用した**eスポーツ教室を開催**し、その初回と最終回の測定日に身体機能・認知機能・心理的指標を**測定**し、身体活動量等を**アンケート調査**することで、eスポーツのフレイル予防効果や実行可能性を検証し、今までにない新しい介護予防事業モデルの構築を目指す。



## 2. 取り組み状況

- 令和4年10月1日から**参加者募集**を開始。
- 同月30日**体験会**を実施し13名が参加。  
日本アクティビティ協会から**健康ゲーム指導士**を講師として招き、  
eスポーツ教室の中心となる**スタッフ**を育成。
- 14名（平均年齢72歳）の参加者が集まり、同年11月24日から実証実験を開始。  
以後、毎週木曜日午前中（年末年始を除く）にeスポーツ教室を川西町中央体育館  
会議室にて**計12回開催**した。
- 初回（R4. 11. 24）及び最終回（R5. 2. 16）の測定日には、以下を測定。
  - ・ 身体機能（歩行やバランス機能、筋力など）
  - ・ 認知機能（遂行、注意、記憶機能）
  - ・ 精神心理機能（質問紙評価）

**無料** 参加者募集 中

まずは体験会へ

令和4年**10月30日**(日)  
**13時~14時**  
(参加費無料 / 募集人数20名)

川西町中央体育館 武道場にて

---

音楽ゲームで**楽しく・楽しく**身体を動かす  
テレビゲームをスポーツのように競い合う「eスポーツ」は脳が活性化されて認知機能が高まるという研究もありシニア世代の関心が高まっています。身体的負担が少なく、楽しみながら健全なシニアライフを目指しましょう。

**eスポーツ教室開催概要**

開催日 令和4年**11月24日**~令和5年**2月16日**(毎週木曜 / 計12回)  
 開催時間 9:00 - 10:15 / 10:30 - 11:45 (2クール制、申込時に時間帯を選択)  
 ※初回(11/24)・最終日(2/16)は測定日(必ずご参加ください)。  
 ※測定日は9:00~11:30にて開催します。  
 ※eスポーツによって身体機能・認知機能の維持改善効果の変化を教室の開催前と終了後で比較します。

会場 川西町中央体育館 会議室 ※測定日は川西町中央体育館 アリーナ  
 参加対象 60歳以上の方 各クール6名程度  
 参加費 **無料**  
 お申し込み NPO法人川西スポーツクラブ 事務局  
 窓口：川西町中央体育館内 / お電話：0745-44-1616  
 令和4年11月15日(火)までにお申し込みください。

主催 **kawaspo** NPO法人川西スポーツクラブ
協力 株式会社 PREVENT 川西町役場まちづくり推進課



eスポーツ教室の様子

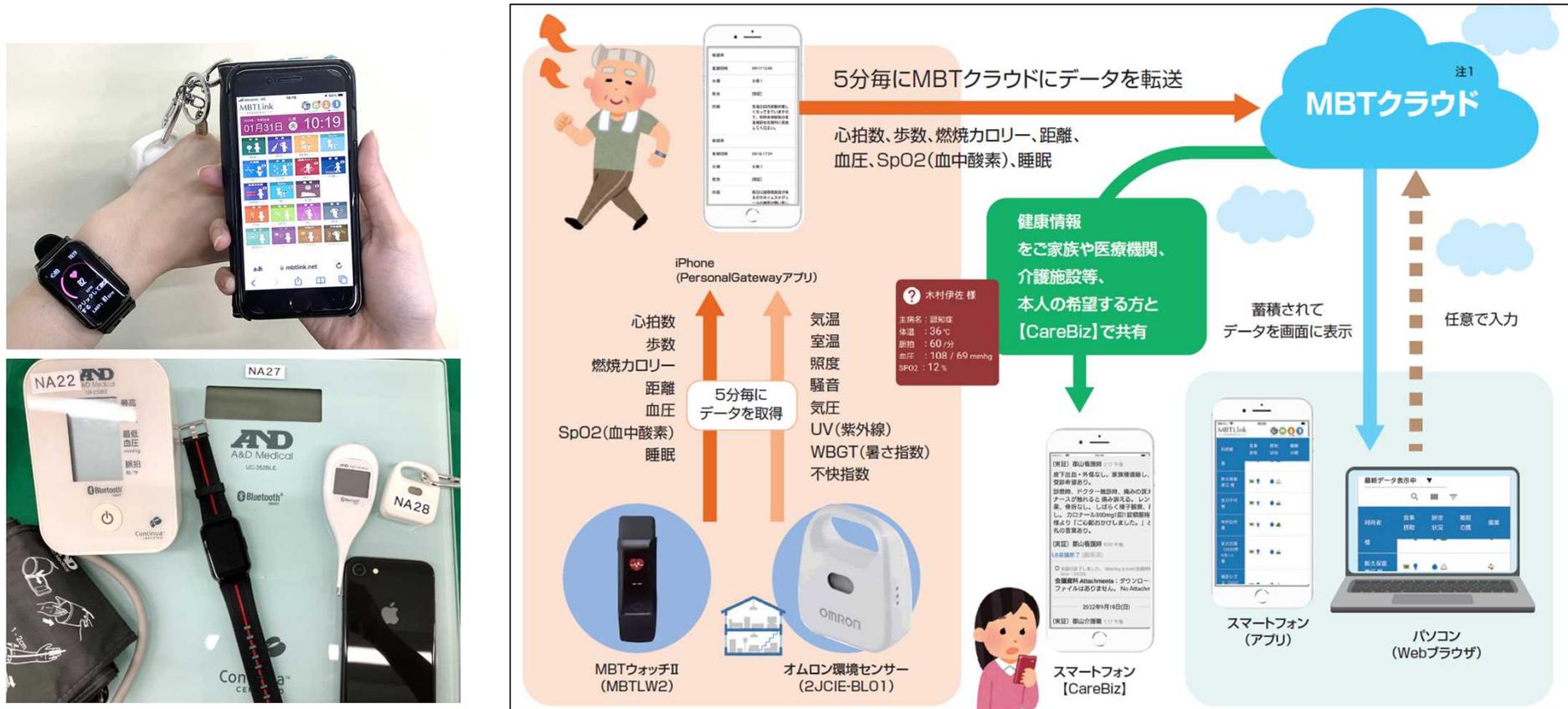
## センシング技術を活用した健康増進・高齢者見守り

(事業者：公立大学法人 奈良県立医科大学 協力：一般社団法人全国メディケア海外・事業協議会)

### 1. 実証実験等の内容

若年層～アクティブシニアや、医療介護ケア需要者を対象に、**スマートウォッチや環境センサーといったセンシングデバイスを貸与**し、それらにより取得したデータを「**MBTクラウド**」に転送する。

これにより、アプリで**推移を確認**できることで健康意識が高まるとともに、これまでの実証で集めた統計データをもとに健康状態・健康リスクを解析した**アドバイスを届ける**ことで、**健康増進**に繋げる。また、「**CareBiz**」とも連携し、医療介護従事者間で情報共有するとともに、一定の値を超えた場合、本人・家族・医療介護施設等に**警告通知**を届けることで、**高齢者の見守り**を行う。



## 2. 取り組み状況

- 令和4年10月24日～11月21日まで、磯城郡3町の住民を対象にモニターを募集したところ、**50名が応募**。
- 同年12月2日～12月8日に5回に分けて、モニターを対象に**説明会**を開催し、**センシング機器を貸与**。  
説明会参加日から令和5年2月28日までが実証実験の期間となる。



説明会の様子

- ウェアラブルウォッチでの計測は5分に1度の頻度で計測しており、日常型の計測を実施、データ群で評価を行い。日常からの逸脱、バイタルサインに及ぼす環境要素の特定、個々の特徴抽出など行った。
- MBTクラウドによる解析結果から、これまで「バイタルサイン、環境データから身体負荷増の傾向時に警告通知」や「熱中症指標、不快指数に基づいたアラート、対応策」といった**アドバイス**等をモニターに届けた。
- 令和5年2月28日には、朝と夜の2回、機器を返却してもらうとともに、意見等を伺う「**モニター報告会**」を開催予定。

公立大学法人 奈良県立医科大学 MBT研究所 奈良県大和府中野中央田園都市構想関連事業

### ウェアラブルウォッチによる生体情報、活動情報の計測

## MBTモニター募集

**調査内容** ウェアラブルウォッチを使って、心拍・血圧・血中酸素などの生体情報、歩数等の行動情報を日常的に計測し、自身の健康状態を見える化、健康意識の向上を図ることを目的として、**モニターを募集します!!**

**実施内容** 腕時計型デジタル端末と環境センサーをポケット等に入れて身に付け、日々過ごしていただきます。データの蓄積ができるよう「PersonalGateWay」アプリを常時起動してください。モニター期間中に2回アンケートにご協力をお願いします。

**モニター対象者** 磯城郡(川西町、三宅町及び田原本町)住民の方限定

**募集人数** 50名 (若年～アクティブシニア: 30名、医療介護ケア需要者: 20名)

**モニター期間** 2022年12月上旬～2023年2月下旬  
期間中は常時「腕時計型デジタル端末と環境センサー」を装着してください。

**募集期間** 2022年10月24日～2022年11月21日

**MBTパーソナルサービスモニターに参加する5つのメリット!**

1. 自身の健康状態を可視化するデータ(生体・行動)が取得でき、その結果を確認できるため、健康状態の維持・改善に立ち立ちます。
2. 取得したデータ(生体・行動)を解析して算出したアドバイスが定期的に届くため、自身の健康改善につなげられます。(希望者)
3. 体温や心拍数などが一定の値を超えた場合、LINEに警告通知が届くため、危険な状態に早く気づいて、医療LINEにも通知出来るので安心することができます。(希望者)
4. 日々の歩数・燃費力(カロリー)・距離の推移が確認できるため、運動の習慣化に繋がります。
5. 歩数ランキングで競争し合うことで、楽しく運動を習慣化でき、利用を通じて参加者間や家族とのコミュニケーションが活性化できます。

**【お問合せ先・お申込み先】** ※応募者多数の場合は、抽選となりますのでご了承くださいませようお願いいたします  
QRコードまたはメール・お電話で、氏名(フリガナ)、性別・年齢・住所・電話番号・説明会参加可能日(裏面参照)・メールアドレス(ある方のみ)・iPhoneを持っているかどうか(持っている方は貸出可)をお知らせください。  
公立大学法人 奈良県立医科大学 MBT研究所  
協力 (一社)メディケア事業協議会  
Tel 0744-29-8958 (10:00～18:00) Mail sangaku@naramed-u.ac.jp まで  
大和府中野中央田園都市構想推進のための事業として、奈良県からの補助を受けて行います



## 潜在的交通事故リスクのAIアセスメントとリスク低減対策の検討

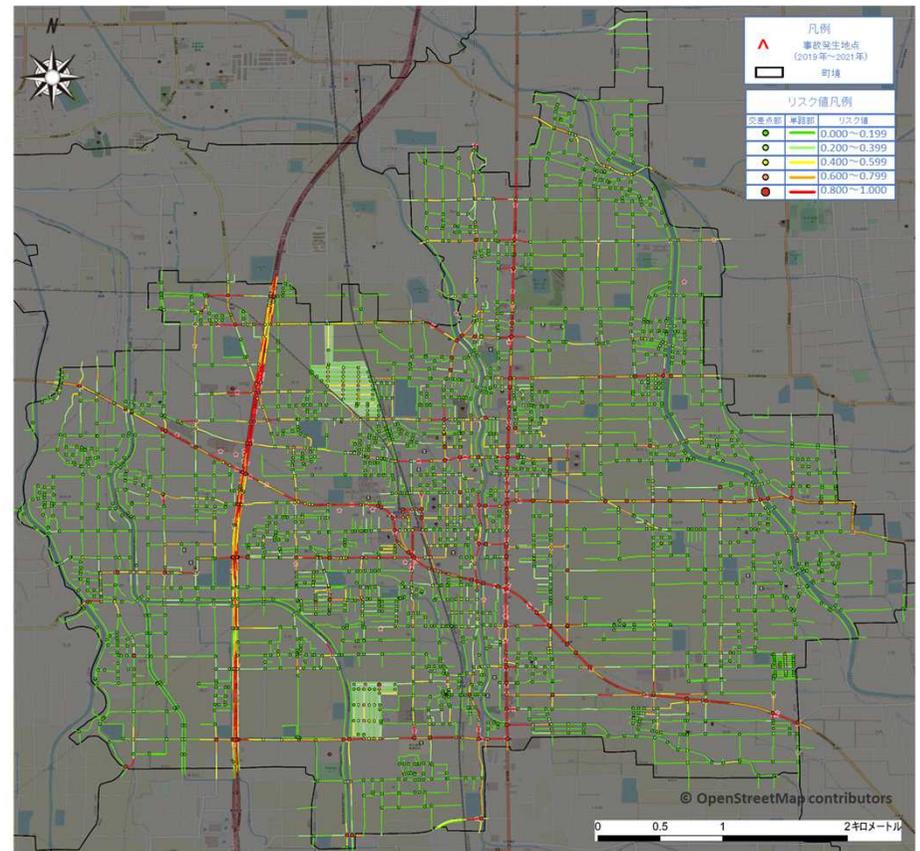
(事業者：大和平野中央田園都市構想安全・安心まちづくりコンソーシアム（八千代エンジニアリング（株）、MS&AD インターリスク総研（株）、三井住友海上火災保険（株）））

### 1. 実証実験等の内容

従来は、①過去に交通事故が発生した**リスク顕在化箇所**と、②「**ヒヤリハット**」と言われる地域住民等からの声に依拠して、交通事故対策が行われてきた。しかし、①は事故未発生**の潜在的に事故リスクが高い箇所を把握できず**、②は**主観的要素が大きい**という課題がある。

本実証実験等では、磯城郡田原本町を対象に、警察庁が公表する事故実績データの情報だけでなく、保険会社が特約として設置しているドライブレコーダーのデータ（走行速度、走行挙動等）、地形（勾配、カーブ等）、人流データ、道路構造（車線数等）等から、**AI解析により客観的に評価**を行い、潜在的事故リスクが高い箇所を特定する。さらに、現地調査等により、事故リスクが高くなった因子を特定し、**対策メニューを提案**する。

**潜在的に事故発生リスクが高い箇所**について、事前の対策を検討することで、重大事故を未然に防ぐ**未然防止型のまちづくり**を目指す。



## 2. 取り組み状況

- 田原本町内の道路や交差点における実際の交通事故データのほか、交通事故の発生に関連するデータ（地形、人口・人流、道路構造、地形、ドライブレコーダーデータ）をモデル構築用の学習データとした。
- AI分析の結果、全交差点のうち約91%について、事故実績有無とAIによる事故発生リスク高低が一致しており、分析結果は妥当と判断できる。



### 評価リスク高（※）

（※） 閾値をリスク値0.6とした場合

事故発生なし	①潜在的な危険箇所 （事故なし／高リスク） 8.0%（192）	②危険があらわな箇所 （事故あり／高リスク） 3.5%（83）	事故発生あり
	③危険が少ない箇所 （事故なし／低リスク） 87.6%（2,092）	④評価不十分な箇所 （事故あり／低リスク） 0.9%（21）	

事故発生確率が高い地点の特徴を把握

### 評価リスク低（※）

下段：町内全交差点2,388地点に占める各分類の構成割合。（ ）は、該当数

- 高事故リスク箇所として町内に275交差点、736区間を抽出。
- 町内全体の事故リスク値は低いものの、高事故リスク箇所の約4割が町道となっており、人口密度の高いエリアに集積していることが判明。
- 高事故リスク箇所のうち、国道・主要地方道を除く県道・町道で、過去3年間の事故実績がない箇所を**潜在的高事故リスク箇所（79交差点、132区間）**として選定。
- 令和4年12月5日に、**潜在的高事故リスク箇所のうち**、6箇所について、現地調査を実施。
- 同年12月26日に、奈良県庁において、安全・安心コンソーシアム、田原本町（構想担当部局及び道路管理部局）、県（構想担当部局及び道路管理部局）の三者において、検証結果の共有と道路施策への反映可否などについて意見交換会を実施。
- 潜在的高事故リスク箇所のうち、町が管理する2箇所についてリスク低減対策を検討中。

# 具体的な実施策

Well-being

「大和平野中央田園都市構想」を推進するため、**民間事業者等にも参画いただき、コンソーシアム形式の連携**を深め、**官民連携（PPPP）**により、**構想に基づいた実践的な取り組みを推進**します。

## 大和平野中央田園都市構想推進体制(コンソーシアム形式)

### 大和平野中央田園都市構想推進コミッション

「大和平野中央田園都市構想」について、有識者やアカデミア等より実践的な**助言・意見・提案**をいただきながら、大和平野中央における、住民の暮らしの向上に、より効果的な**取り組みの展開**について検討。

構成メンバー → 有識者、アカデミア 他

### 大和平野中央田園都市構想推進協議会

「大和平野中央田園都市構想」について、推進コミッションの検討を踏まえ、**構想を推進するための具体的取組を実施**。

- ① **構想に基づく施策の実行**  
構想のテーマに基づく**先進的な取組の実装を官民連携により実施**
- ② **情報の共有・発信、官民連携(PPPP)の強化**  
構想の取組を周知する**フォーラム等の開催**

構成員) 奈良県：奈良県知事<会長>  
磯城郡3町：川西町長、三宅町長及び田原本町長



### 大和平野中央田園都市構想 サポーター企業・団体

- ・「大和平野中央田園都市構想」の趣旨に賛同し、様々な技術、ノウハウ、知見を持つ企業、団体等による**サポーター登録**。
- ・「大和平野中央田園都市構想」の推進に向けた**意見交換や、官民連携による取り組みへの参画**。
- ・推進協議会から「大和平野中央田園都市構想」に関連する**取り組み等を情報提供**。

構成メンバー

民間企業、大学、教育機関、金融機関、  
経済・産業等関係団体 等

## おわりに

大和平野中央田園都市構想は、一旦、本日時点で取りまとめましたが、これで完成したわけではありません。

随時、奈良県を取り巻く状況や、事業の進捗にあわせて見直し、より良いものを目指して進化させていく必要があります。

そのためにも、引き続き、民間事業者、有識者、国、市町村等が参画するコンソーシアム形式による連携を深めていきたいと考えており、皆様から力をお借りできたら幸いです。

今後よろしくお願い申し上げます。

大和平野中央田園都市構想について、SNSで情報発信していきます！



@yamachu\_nara

令和5年2月16日

ご質問、ご意見は下記にお願いいたします。

奈良県 文化・教育・暮らし創造部  
大和平野中央構想推進室

E-mail yamachu@office.pref.nara.lg.jp